

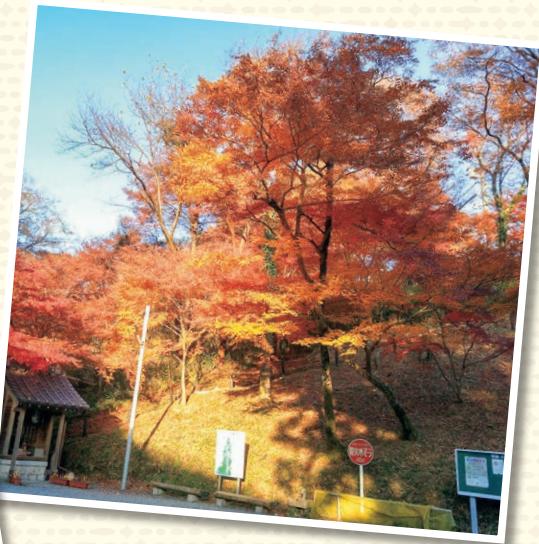
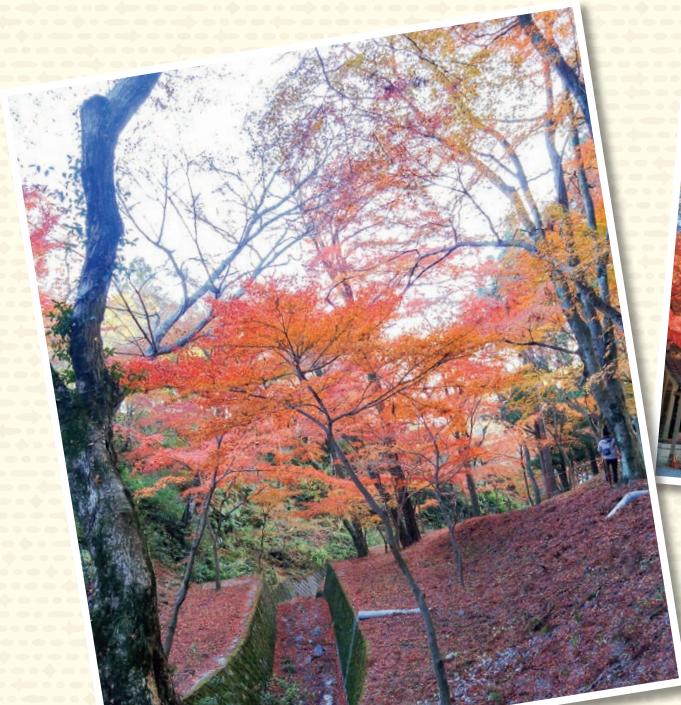
福祉 伝える

社 会 福 祉 み え

No.
411

12月号
2025年

ひびきあう



今月の表紙写真は県社協職員が訪れた四日市市「晩秋を彩るあざやかなもみじ谷」の様子をお届けします。

テーマは
「旅行先の景色や思い出」

三重県内の風景や美味しいもの、
おすすめスポットなどを
ぜひ、おこそ分けください！

※三重県にシャチはいません。

写真の投稿はこちらから ▶▶▶

あなたの写真が世界への冒険を共有し、
福祉の魅力を広める一役を担うかもしません！

contents

- 特 集：令和7年度 三重県社会福祉大会 2
- 連 載：○○にきいてみよう 6
- 三重県共同募金会からのお知らせ 8

福祉みえでは特集記事にuni-voiceによる音声コードを導入しておりますが、今月号におきましては収録字数の関係上、音声コードの導入を見送させていただいております。

ふれあいネットワーク



社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

特集

令和7年度 三重県社会福祉大会

去る令和7年10月24日（金）、三重県総合文化センターにて三重県の社会福祉に貢献された方々の顕彰と社会福祉の更なる発展を期して、三重県社会福祉大会（第73回）を開催いたしましたので、そのときの内容をお届けします。

＊三重県社会福祉協議会会長表彰・感謝＊

民 生委員・児童委員功労者【53名】

民生委員・児童委員の現職にあって、多年にわたり、社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方

市町名	氏名
桑名市	伊藤 光子
桑名市	正木 哲哉
桑名市	赤坂 節子
桑名市	一村 敏金
桑名市	石井 幸一
四日市市	小林 啓太郎
四日市市	藤田 俊子
四日市市	山本 哲也
四日市市	中平 小夜子
四日市市	石田 千草
四日市市	小林 啓子
菰野町	北岡 フミ子
川越町	太田 勉

市町名	氏名
鈴鹿市	水谷 恵子
鈴鹿市	大石 以津子
鈴鹿市	的場 つや子
鈴鹿市	義村 成子
鈴鹿市	石原 かず子
鈴鹿市	福井 雅子
津市	中野 美代子
津市	安達 とも子
松阪市	田替藤 潤子
松阪市	藤原 久孝
松阪市	井上 清三
松阪市	刀根 雅人
松阪市	金児 和子

市町名	氏名
松阪市	居附 良子
松阪市	粉川 美代子
明和町	前田 哲司
明和町	前田 幸子
玉城町	岩崎 正
玉城町	尾上 利幸
伊賀市	和田 文子
伊賀市	西口 保次
伊賀市	北岡 憲次
伊賀市	早瀬 福子
伊賀市	藤本 正
伊賀市	末松 津屋子
伊賀市	長愛 廣康

市町名	氏名
伊賀市	渡邊 由紀子
名張市	梅崎 享子
名張市	小川 金一
名張市	名倉 豊
名張市	村田 憲子
名張市	東 美代子
紀北町	濱 源治
紀北町	藤原 治
紀北町	濱田 親
紀北町	山口 敬子
紀北町	奥村 純男

社会福祉法人・福祉施設功労者【53名】

社会福祉施設の現職にあって、多年にわたり、社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方

市町名	氏名	所属先
四日市市	丹羽 晶子	浜田保育園
四日市市	鷺山 厚	社会福祉法人徳寿会
四日市市	片岡 清二	大財須賀短期入所生活介護事業所
四日市市	田中 敦子	社会福祉法人 ユートピア
鈴鹿市	林 仁	鈴鹿第8地域包括支援センター
鈴鹿市	栗田 斎	ルーエハイム庄野
鈴鹿市	岩崎 公彦	特養ルーエハイム
鈴鹿市	荻野 良樹	じらさざ園
龜山市	片岡 真由里	川崎愛児園
龜山市	遠藤 ちひろ	川崎愛児園
龜山市	川森 さわ子	川崎愛児園
津市	鏡 愛未	三重保育院
津市	浅田 真由	三重保育院乳児保育所
津市	高山 宗仙	長谷山荘
津市	東 賢子	長谷山荘
津市	登 晓史	津長谷山学園
津市	小山 智之	長谷山荘
津市	中西 充	聖マッテヤ心豊苑
津市	片岡 伸敏	報徳園
津市	平田 瑞恵	児童養護施設ないいろ
津市	若林 雅味	児童家庭支援センターたるみ
津市	草川 真由美	児童養護施設ないいろ
津市	岡山 文葉	白塚愛児園
津市	今泉 好実	津愛児園
津市	森下 恵	白塚愛児園
津市	伊藤 智草	白塚愛児園

市町名	氏名	所属先
津市	後藤 真弓	白塚愛児園
津市	井戸 杏奈	白塚愛児園
津市	里 晃子	志登茂保育園
津市	堀本 浩史	すばる児童館
津市	後藤 佳美	志登茂保育園
津市	松谷 かおり	志登茂保育園
津市	笠原 まち子	志登茂保育園
松阪市	竹内 令子	松阪市立春日保育園
松阪市	浮田 恵	子ども家庭センター
松阪市	小野 陽子	こだま小規模保育事業所
松阪市	高瀬 美紀	松阪市立飯南ひまわりこども園
松阪市	若林 由子	松阪市立中川こども園
伊勢市	沖林 真由美	済美寮
志摩市	野口 ひさみ	特養ホームビビアン
志摩市	大山 康代	特養ホームビビアン
伊賀市	山本 幸枝	いなこ保育園
名張市	堀 幸子	名張市錦生保育所
名張市	川口 亜希	社会福祉法人名張育成会
名張市	杉井 雅樹	成峯
名張市	藤森 由香里	のーまらいふ暖
名張市	平嶋 弘幸	成美
名張市	田中 泰宏	名張養護老人ホームみさと園
尾鷲市	野口 千代美	尾鷲乳児保育園
尾鷲市	家崎 由美子	尾鷲乳児保育園
尾鷲市	樋口 まこ	尾鷲第一保育園

社会福祉協議会・民間団体功労者【21名】

社会福祉団体の現職にあって、多年にわたり、社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方

市町名	氏名	所属先
四日市市	原田 塩子	四日市市社会福祉協議会
四日市市	今村 初美	四日市市社会福祉協議会
四日市市	今井 ゆかり	四日市市社会福祉協議会
菰野町	加藤 健一郎	菰野町社会福祉協議会
鈴鹿市	眞弓 和人	鈴鹿市社会福祉協議会
鈴鹿市	生川 明子	鈴鹿市社会福祉協議会
津市	杉田 せい子	津市母子父子寡婦福祉会 白山支部
明和町	出口 幸子	明和町社会福祉協議会
明和町	藤井 弘司	明和町社会福祉協議会
伊勢市	阿竹 秀之	伊勢市社会福祉協議会

市町名	氏名	所属先
鳥羽市	上村 方人	鳥羽市社会福祉協議会
南伊勢町	山本 勝彦	南伊勢町社会福祉協議会
伊賀市	里中 真紀	伊賀市社会福祉協議会
伊賀市	藤林 純子	伊賀市社会福祉協議会
伊賀市	内田 由里	伊賀市社会福祉協議会
伊賀市	福田 陽子	伊賀市社会福祉協議会
名張市	西本 広美	名張市社会福祉協議会
尾鷲市	佐野 茂機	尾鷲市社会福祉協議会
紀北町	久保 真美	紀北町社会福祉協議会

社会福祉協助者（感謝）（個人）【2名】

社会福祉活動に積極的に協力し、特に顕著な功績があった方

市町名	団体名
南伊勢町	山本 豊

市町名	団体名
南伊勢町	田畠 紀實



＊ 三重県共同募金会会長表彰・感謝 ＊

共同募金運動奉仕功勞者【2名】

共同募金運動の推進に貢献し、その功績が特に顕著な奉仕者

市町名	氏名
桑名市	水谷忠司

市町名	氏名
菰野町	佐々木理

共同募金運動優良地区・団体【26 地区・団体】

共同募金運動が特に優秀な地区及び団体

市町名	地区／団体名
津市	小森山自治会
津市	西里ノ上自治会
津市	城山東自治会
津市	青谷第一自治会
津市	米津北自治会
伊勢市	一宇田町内会
伊勢市	小木町
伊勢市	中小俣自治区
伊勢市	磯町自治会

市町名	地区／団体名
名張市	元町区
名張市	南古山区
志摩市	恵利原区
志摩市	鵜方自治会
伊賀市	中村区(島ヶ原)
伊賀市	川南区
伊賀市	大道区
伊賀市	種生区
伊賀市	山出区

市町名	地区／団体名
多 気 町	野中
多 気 町	西山
多 気 町	土屋
南 伊 勢 町	神前浦区
南 伊 勢 町	村山区
南 伊 勢 町	五ヶ所浦区
南 伊 勢 町	伊勢路区

※ 1地区・団体掲載不可

共 募金運動篤志寄付者・個人(感謝) [7名]

共同募金に多額の篤志寄付をされた個人

市町名 氏名
松阪市 青木世都

市町名	氏名
伊賀市	田中 宏明

※ 5名掲載不可

共同募金運動篤志寄付者・法人・団体(感謝)【11 法人・団体】

共同募金に多額の篤志寄付をされた団体

市町名	団体名
伊勢市・伊賀市	三重ダイハツ販売株式会社
松阪市	クラギ株式会社
志摩市	有限会社 中原自動車整備工場
四日市市	四日市学生吹奏楽連盟
四日市市	四日市ロータリークラブ
四日市市	四日市更生保護女性の会

市町名	団体名
松阪市	東海労務経営管理センター
松阪市	野島飼料株式会社
名張市	名張市仏教会
名張市	株式会社ベルウイング
伊賀市	伊賀ふるさと農業協同組合

共同募金運動特別協力功労者（感謝）【1団体】

共同募金運動の推進に特に顕著な功績があった団体

市町名	団体名
松阪市	松阪市ボランティア連絡協議会



三重の赤い羽根共同募金バッジデザイン表彰

赤い羽根共同募金 三重県をイメージした優れた作品をデザインされた方

氏名	学校名
三重の赤い羽根賞	小屋口 朱々
三重県知事賞	田中 隼人
三重県教育委員会賞（中学生・高校生の部）	加藤 凉
三重県教育委員会賞（小学生の部）	堀田 健琉
三重県議會議長賞	山田 麗佳
三重県社会福祉協議会会長賞	奥井 惺太
努力賞	丹羽 紅葉
	松鹿 橙磨
	坂部 夢來
	吉田 菜摘
	吉原 夢結



講演

NHKアナウンサーから障害福祉の世界へ

転身のきっかけとなつた
「ソーシャルアクション」

実は私、もともとディレクターになりました。人前で話すのは大の苦手で、アナウンサーになるつもりは全くありませんでした。縁あってNHKにアナウンサーとして入局し、30年間、ニュース番組のキャスターなどを務めました。

元NHKアナウンサーの一般社団法人ソーシャルアクションジャパン代表理事、内多勝康（うちだかつやす）氏が登壇。30年間のアナウンサー経験を経て、障害福祉の世界に飛び込んだ経緯、そして「医療的ケア児」を取り巻く現状と必要な支援について語りました。



キャリアが充実していた2013年、自分で企画・取材した「クローズアップ現代」の制作に挑んだのです。そこで取り上げたのが、医療的ケアが必要なお子さんとそのご家族の現状でした。在宅でのケアに追われる親御さんたちの話は、長年にわたりインターネットで見てきた中で、一番聞くのが辛いものでした。夜も熟睡できず、外出もままならない、中には「1日1回は死んでしまいたくなる」と漏らす方もいて、私は大きな衝撃を受けました。

その後、私は社会福祉士の資格を取得したのですが、その際に学んだのが「ソーシャルアクション」という言葉です。これは、目の前の困り事への個別支援だけでなく、「困り事」を生み出している社会構造そのものへ働きかけること。この理念こそ、私がNHKを辞めて「もみじの家」に転職する決め手になったのです。

医療の進歩により、かつては命を落としていた子どもが救命されるようになったのです。人前で話すのは大の苦手で、アナウンサーになるつもりは全くありませんでした。縁あってNHKにアナウンサーとして入局し、30年間、ニュース番組のキャスターなどを務めました。

初めて子育てができる
安らぎの場

ソーシャルアクションで
社会を変える

「もみじの家」での宿泊は、子どもたちにとって、親元から離れて自立のためのトレーニングをする場にもなります。人工呼吸器をつけた少年は、初めて親から離れてお泊まりに挑戦し、自分で物事を決める小さな成功体験を積み重ねました。その後、彼は高等部を卒業し、パソコンの技術を活かして一般就労を果たしています。この事例が示すのは、医療的ケアがあるからといって「何もできない」と決めつけてはいけないということ。社会の側が合理的な配慮を提供し、環境を整えることで、彼らの可能性は大きく広がります。

私が勤めた「もみじの家」は、医療的ケア児とその家族が数日間宿泊できる短期入所施設です。ここは、単に命を維持する場所ではありません。24時間看護師による医療的ケアと、お風呂や食事などの生活介助。そして、私たちスタッフが大切にしているのが、保育士などが提供する遊びや学びの活動（日中活動）といふ3本柱です。

ここに来ると、親御さんたちはケアの必要から解放され、久しぶりにゆっくり眠れます。ある親は、「ここでは初めて育児ができる」と表現されました。まさに、家族の介護負担を軽減し、子どもには子どもらしい楽しい時間を提供する、家族の命綱のような施設なのです。

ここに来るため、私は全国47都道府県の家族会を結ぶネットワークを立ち上げました。「誰もが活躍できる社会を目指し、ぜひ皆さんも地域で、職場で、ご自身の現場で声を上げてソーシャルアクションを巻き起こし、この社会をより良いものにしていきましょう！」

講師 Profile

内多 勝康 氏



東京大学教育学部卒業後、NHKに入局。30年間アナウンサーとして「首都圏ネットワーク」、「NHKスペシャル」、「クローズアップ現代」などのキャスターを務める。2016年にNHKを退職後、「もみじの家」ハウスマネージャー（現シニアアドバイザー）に就任。今年、一般社団法人ソーシャルアクションジャパンを設立し、代表理事を務める。



大会宣言

近年、我が国においては、急速な人口減少と高齢化が同時に進む中、高齢者世帯や単身世帯の増加、格差や貧困、ひきこもり、孤立など大きな社会課題が増加しています。

また、毎年のように全国のどこかで大きな災害が発生し、災害時の福祉の支援の強化が必要であると叫ばれ、そうした中、令和7年7月1日施行「災害対策基本法等の一部を改正する法律」により、「福祉サービスの提供」が法律や告示等で位置付けられたことは、歴史的事象といえます。

このような状況の中、誰もが身近な地域で安心して暮らしていくためには、住民、行政、企業、各種団体等の地域の多様な主体の協働が不可欠です。2016年に新たな時代に対応した福祉提供ビジョンとして「地域共生社会の実現」が謳われ、10年近くが経とうとしています。今こそ、暮らしにおける人と人とのつながりが弱まる中、関係性を再構築することにより、人生における様々な困難に直面した場合でも、誰もが役割を持ち、お互いが配慮し存在を認め合い、そして時に支え合うことで、その人らしい生活をおくることができるような社会の実現が求められています。

本日、ここに第73回三重県社会福祉大会を開催するにあたり、私たち社会福祉関係者含め、あらゆる人が地域を共に創り、一人ひとりが生き生きと暮らせる、そして、災害に負けない地域社会を作っていくことを固く誓い、ここに宣言します。

令和7年10月24日 第73回三重県社会福祉大会

受賞者の声



松阪市立春日保育園
園長 竹内 令子 さん (松阪市)

三重県社会福祉協議会会長表彰 社会福祉法人・福祉施設功労者

短大在学時に実習があり、子どもたちとの触れ合いが楽しくて「ずっと続けたいな」と思ったのがきっかけで、保育の道に進むことを決意しました。私が歩んできた時代と比べると、今の保育士は「窮屈そうだな」と感じることが多いですね。「不適切な保育」という言葉を頻繁に耳にするようになり、毎年のように離職する職員も出るというのが現実です。保護者にも言葉を選びつつ対応している姿を見ると「もっと伸び伸びさせてあげたいな」と思うこともしばしばあります。今後に関しては、私自身よりもまず職員の境遇を考える立場なので、月並みではありますが「働きやすい職場」を実現するために力を尽くしたいですね。慢性的に保育士が不足している現状を踏まえて「大変だけど、その分喜びも大きい」仕事であるということを若い人たちに伝えたいと思います。

受賞者の声



菰野第二区
区長 佐々木 理 さん (菰野町)

三重県共同募金会会長表彰 共同募金運動奉仕功労者

今回の表彰は、自治会の戸別募金に関してという色合いが強いので、私個人というよりも地域の皆さんと共にという思いでいっぱいです。長年にわたる住民の協力により、募金を集める仕組みが構築されていて、私はそこに乗っからせてもらっただけと言いますか…。この役に就いて8年になりますが、活動に際して苦労したという記憶はありません。「募金には協力する」との意識が地域全体に浸透しており、先人たちの地道な努力のお蔭で今があることを痛感しています。ただ、この状況がいつまでも続くとは限りません。これからは、募金の使い道を広く知ってもらうことが大切だと思います。現在でも紙の回覧で周知していますが、やはり読まない人も多い。特に次世代の人たちに向けて、一斉メールなどデジタルの力も活用していくことが必要だと感じています

にきいてみよう



福祉の現場では、様々な経験をもつた方が活躍しています。そこで、この連載では、様々なルーツをもつ方々にスポットを当てて、掘り下げていきます。

第3回は、生花業界から福祉業界に転身され、支援相談員として活躍される、介護老人保健施設第一嘉祥苑「アコラス」の伊藤大樹さんに、現在の仕事についてお話を伺いました。

私が福祉業界に入る前は生花市場関係の会社に勤めており、花の仕入れから販売、営業をしていました。市場に出入りするため勤務時間が朝早く、夜中から働くこともしょっちゅうでした。独身の時はそれで良かったのですが、結婚と子供の誕生を経て、共働きで仕事と子育ての両立に限界を感じて転職を考えるようになりました。

そこで社会貢献にもなり、高齢化社会の進展によりますますニーズが高まるであろう福祉業界に興味を持ちました。

② 支援相談員からケアマネへ

未経験で現在の法人に入職した頃は、初めてのことばかりで失敗もありました。周りの方に支えられ、しばらくして支援相談員とい

① 福祉業界にはいるきっかけ

私が福祉業界に入る前は生花市場関係の会社に勤めており、花の仕入れから販売、営業をしていま

③ ケアマネジャーになつて

無事合格し、ケアマネジャーの業務につかせてもらい3年目となりました。

ケアマネジャーになつて一番良かったことは、ワーカーライフバランスが非常に取りやすくなつたことです。自分でスケジュールを決めることができるので、ケアマネジャーになつてからは毎週の子供の習い事の送迎や行事の参加ができるようになりました。夫婦での役割分担もやりやすくなりました。自分次第ですが残業もほとんどないので、家事も手伝えることが多くなり、今ではすっかり料理当番となっています。

ケアマネジャーといえば多忙で様々なことをしなければいけない印

う役割を与えてもらいました。たくさん利用者さんやケアマネジャーと関わることのできるケアマネジャーに興味を持つようになり、ケアマネジャーの試験に挑戦することとなりました。

④ 今後の目標

何事も無駄な経験は一つもないと思います。全く関係のない生花市場での経験も施設での生け花のレクリエーションの時に先生のお手伝いをしたりと意外に役に立っています。ケアマネジャーとしてさらに経験を積み、今後はスキルを高めるため主任介護支援専門員の資格にも挑戦しようと考えています。

象があるかもしませんが、子育て世代にはお勧めできる職種だと思います。



令和7年度

**スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!**

ホームページでも内容を紹介しています
<https://www.fukushihoken.co.jp>



社会福祉施設総合損害補償 しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン 1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、動産総合保険、費用・利益保険)

保険期間 1年

① 基本補償(賠償・見舞費用)

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等の賃用費用	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)	
定員	基本補償(A型)
基準額(A型)	1~50名 35,000~61,460円
	51~100名 68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円
見舞費用付補償(B型)	【見舞費用加算】 保険料 + 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円

② 個人情報漏えい対応補償

③ 施設の什器・備品損害補償

プラン 2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- ① 入所型施設利用者の傷害事故補償
- ② 通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン 3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- ① 職員の労災上乗せ補償
使用者賠償責任補償
- ② 役員・職員の傷害事故補償
- ③ 役員・職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償



プラン 4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事会保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ24-11108 より抜粋)



三重県共同募金会からのお知らせ

NHK歳末たすけあい義援金を受け付けています

NHK歳末たすけあい義援金は、新たな年を迎えるにあたって、障がい者、子ども、高齢者等支援が必要な方々に県民の皆様からの寄付金を、共同募金会を通じて助成するものです。

募金は各金融機関やNHK津放送局で受け付けています。

● 実施期間

令和7年12月1日（月）～12月25日（木）

● 金融機関での受付

各金融機関窓口に専用の振込用紙を設置します。



● NHK津放送局での受付

期 間 令和7年12月1日（月）～12月25日（木）10時～16時

※土・日及び祝日はNHK津放送局が閉館のため、受付を行いません。

場 所 NHK津放送局（津市丸之内養生町4-8）

地域課題解決型募金（テーマ型募金）を受け付けます



三重県共同募金会は、令和2年度から地域課題解決型募金（テーマ型募金）の取組みを行っています。

テーマ型募金とは、共同募金運動の期間拡大期である1月～3月に地域で活動する団体が、その地域が抱える課題を解決するため、団体の活動をアピールすることにより、活動に賛同する方から寄付金を募る取組みです。

本年度は、「NPO法人バンビの会」、「父子の会」、「一般社団法人三重県里親会」、「徳和住民自治協議会」の4団体が参加します。

来月号では、団体の活動内容について紹介しますので、お楽しみに！

詳しくは本会ホームページ (<https://mie-akaihane.or.jp/expansion.php>) をご覧ください。



発行人 井村 正勝
編集人 横田 浩一・広報委員会
発行所 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会
〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目131
TEL : 059-227-5145 FAX : 059-227-6618
URL : <https://www.miewel-1.com/> E-mail : info@miewel.or.jp
編集協力 株式会社アイリック